

2024年3月19日
日本ガス協会

日本ガス協会 本荘会長 会見発言要旨

私は、本年3月末をもって協会長を辞し、これまで副会長として支えてくださった東京ガスの内田会長を後任の協会長とすることを、理事会において内定しました。

在任中の期間を振り返りますと、世界的なカーボンニュートラルに向けた流れの加速、コロナ禍、そしてロシアによるウクライナ侵攻以降の世界的な LNG 需給の逼迫とそれに伴う料金の高騰、大手3社の導管部門の法的分離など、業界にとって激動の3年間でありました。

そうした中でも、足元の都市ガスの安定供給を実現しつつ、会員事業者と連携して、万が一 LNG の供給が途絶した場合の需給両面における備えの徹底や、災害対策訓練の実施など、都市ガスの安定供給・保安の確保に取り組んできました。

また、2030年NDCの達成に貢献するため、都市ガスのカーボンニュートラル化に向けたアクションプランを策定・公表し、足元ではトランジション期における天然ガスシフトへの政策導入を進めつつ、将来 e-methane (e-メタン) を社会実装する際の支援制度の確立や、環境価値獲得のためのルール設計に取り組み、業界にとって重要な歩みを進めることができたと感じています。

さらに、各地域の特性に応じた会員事業者によるカーボンニュートラルや地域活性化の取組みに対する支援にも力を注ぎ、その手応えを感じることができました。

開催を来年に控えた大阪・関西万博のガスパビリオンについても、昨年起工式を行い、本年10月の竣工に向けて建設を進めています。

今、都市ガス業界は、カーボンニュートラル社会実現を目指し、ガス事業「第3の創業」とも言える大変革に立ち向かうべく動き出したところです。転換期の中、道半ばではありますが、内田新会長を筆頭とした新体制で引き続き力強く歩んでいただきたいと思います。

結びに、この3年間、日本ガス協会や都市ガス業界の取組みを積極的に情報発信いただいた報道関係の皆様には感謝申し上げます。

内田新会長をトップに新体制となる日本ガス協会に対し、これまでと変わらぬご支援をお願いし、私の退任の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上

2024年3月19日
日本ガス協会

日本ガス協会 内田副会長 会見発言要旨

本荘会長の後任として、4月1日より日本ガス協会の会長に就任させていただくこととなりました内田です。

都市ガス業界は、現在第3の創業期とも言えると考えています。第1の創業期はガス事業を始めた時期、第2の創業期はLNGをはじめとしてガス種、カロリーを統一するために各社が動いた時期、第3の創業期は環境問題にも積極的に対応し、e-メタンをはじめとするガス種への転換を図っている時期。こうした大変革へ挑戦している最中にあり、大変重要な時期に会長を仰せつかることとなり、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

本荘会長は、在任期間中、e-メタンの社会実装に向けて、ガス業界としての具体的な道筋を示され、その歩みを着実に進めてくださいました。まずはそのことに感謝申しあげたいと思います。

また、エネルギー業界を取り巻く環境が激変する中において、ガス事業の根幹である安定供給と保安の確保のために尽力いただきました。ガス事業者個社の安定供給に加えて、日本のエネルギーの安全保障という観点からLNGが途絶したときにどのように安定供給を継続できるのかという、大きな意味での安定供給の確保に尽力いただきました。さらに地方ガス事業者の経営基盤の強化やカーボンニュートラルに向けた取り組みへの支援など、多岐にわたる功績を残され、心から敬意を表します。

私は、エネルギー事業の基本となる「S+3E」、すなわち安全性を基本としつつ、環境性、経済性、供給安定性を満たすというエネルギー事業の基本を大事にしながら、天然ガスの高度利用やカーボンニュートラル社会の実現を目指す取り組みを進展させるとともに、地方のカーボンニュートラル化や地域活性化に貢献する地方都市ガス事業者へのサポートも強化していきたいと考えています。

政府、関係諸団体の皆さま、そして本日お集まりいただいた報道各社の皆さまにおかれましては、日本ガス協会、ならびに都市ガス業界の取り組みに対し、一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上